

<福島県知事賞>

## 税金があつての当たり前

白河市立白河中央中学校

3年 角田 萌夏

私は街中で救急車や消防車、パトカーを見かけます。しかし、海外ではこの光景が珍しいという国もあるのです。例えば、けがをして、どうにもならない、という時には救急車を呼びます。この時、お金はかかりません。では、他国ではどうなのでしょう。気になった私は、インターネットで調べてみました。すると、アメリカでは2万から5万円で地域によってちがうことが分かりました。カナダでは5万8千円以上かかることが分かりました。このため、救急車を呼ぶよりもタクシーを呼んで病院に行く人が多く、救急車や消防車を呼んで対処してもらうのは、お金によゆうのある人なのだと分かりました。

そう考えると、日本はかなり恵まれているのではないかと思います。救急車や消防車を呼ぶことで助かる命も多いのではないのでしょうか。

しかし、その裏には苦労があるということも、インターネットで調べて分かったことです。先ほど日本は救急車や消防車、パトカーを呼ぶのにお金がかからないといいましたが、それは日本に税金があるからなのです。現在の日本の消費税は8パーセントで、買い物をする時には、誰もが必ず支払います。他にも税の種類は色々あり、その集まった税金で国をよりよくしようと国会で話し合いが行われることもあるのです。

では、消費税以外の税金は誰が支払っているのでしょうか。それは大人です。仕事をして、もらったお給料から税金がひかれていきます。私にとっては考えにくいことです。自分が一生懸命働いて、もらったお金が税金として他の人に使われるなんて、あまり良い気持ちにはなりません。でも、この税金のしくみは、昔から続いているもので、私たちの

生活にも役立っているということに気づきました。

私に通っている白河中央中学校は、とりこわされ、新しくつくられました。外観はもちろんのこと、全教室がとてもきれいで、エアコンがついていたり、新しい机やいすに全部が変わっていたりしてとても驚きました。こんなにきれいな学校で毎日を安全に、楽しくすごせるのも税金のおかげなのだと、知りました。税金があつてこそ、この豊かな学校生活は、決して当たり前ではないということを、この作文を書くにあたって学ぶことができました。

私には、将来の夢があります。大きくなったらしたいこともたくさんあります。税金もきちんと納めようと思います。今のこの生活が当たり前ではないことと、税金を納めて国を豊かにしてくれる人がいるということを忘れずに生活をしていこうと思います。そして私も5年後には、きちんと税金を納め、国や高齢者の方々に恩返しができるかっこいい大人になりたいと思います。